ご注意：

本書は取り扱い説明書から注意文など、製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したものです。操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった場合にお使い頂く事を念頭に編集しており、正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。

尚、正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。

http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

定格DJ-P90/P93

項目		
送受信周波数	DJ-P90	422.5000～422.1750MHz（送受信） （12.5kHzステップ）
	DJ-P93	421.5750～421.7875MHz（受信） 422.0500～422.1750MHz（送受信） 440.0250～440.2375MHz（送信） （12.5kHzステップ）
電波形式	F3E (FM)	
送信出力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	−6dBμ以下(12dB SINAD)	
音声出力	70mW以上	
消費電流	送信時	約60mA
	受信定格出力時(50mW)	約90mA
	受信待ち受け時	約50mA
	バッテリーセーブ動作時（平均）	約20mA
通信方式	DJ-P90	単信方式
	DJ-P93	単信方式 半複信方式
定格電圧	DC4.5V	
外部電圧端子	(EIAJ規格)　定格5.5V (max.6.0V)	
動作温度範囲	−10℃～+50℃	
中間周波数	1st IF 21.7MHz 2nd IF 450kHz	
寸法	55(W) ×100(H) × 28(D)mm （突起物除く）	
重量	185g （乾電池含む）	

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 ☎03-3278-5888
大阪営業所 〒540-8580 大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21 MIDタワー25階 ☎06-6946-3140
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多偕成ビル7階 ☎092-473-8034
札幌営業所 ☎011-231-7712　名古屋営業所 ☎052-212-0541
仙台営業所 ☎022-221-8220　広島営業所 ☎082-222-0234

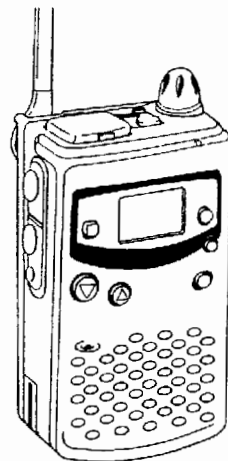
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日は除きます)

ALINCO

特定小電力型ハンディトランシーバー
（郵政省技術基準適合品）

P90/P93

業務チャンネル対応

取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ効果的にご使用いただくためこの取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

特長

1 ビジネス用ペアチャンネル18チャンネルを加え、合計29チャンネルの交信チャンネルを装備しています。(P93のみ)

2 グループトーク、スクランブルトーク機能で混信のない快適な交信をお約束します。

3 チャンネル番号、シグナルメーター、電池残量など見やすい照明付大型ディスプレイで表示！

4 クラス最高レベルの交信距離と、単三アルカリ電池で約58時間使用できる省電力設計です。

5 日常生活防水仕様で、携帯に便利な超コンパクトボディです。

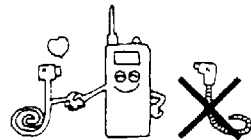
(P93のみ) の表示の機能はP90では動作いたしません。

目次

ご使用前のご注意

ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使い下さい。

外部電源

外部電源は必ず専用のシガーDC/DCコンバータEDH-9(☞P55)をお使い下さい。

分解しないで

改造、変更は禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないで下さい。

ご使用禁止場所

本機は郵政省技術基準適合品ですが、使用場所によりましては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないで下さい。
航空機内、空港敷地内、新幹線車両内など。
また、日本国内でのみ使用して下さい。

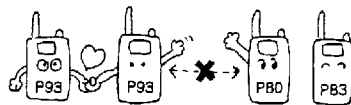
交信距離

通話のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

大体のめやす

海上	3km
ゲレンデ	2km(見通しのよい所)
郊外	1～2km
市街地	100～200m

本機に採用されている電波は直進性が高いため、ビルや橋脚、又は山等の障害物があると、交信できる距離が短くなります。

交信相手

本機が交信できるのは、弊社P9Xどうしか、他の特定小電力トランシーバーでも周波数構成が同じものだけです。
ALINCO P8Xとは周波数が異るため、交信できません。53ページを参考に、交信できる相手をお確かめ下さい。

水につけないで

本機は日常生活防水仕様になっておりますので、少々の雨や水しぶき、雪の中でも正常に機能しますが、防水設計ではありませんので上のようなご使用はお避け下さい。
なお、水、雪等が付いた時は手早くふき取って下さい。

ペアチャンネルの使用について

(P93のみ)

A

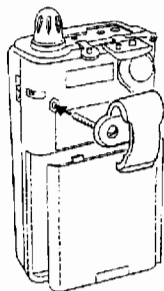
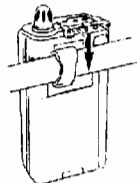
本機ではペアチャンネル(12～29ch)は「半複信方式」で許可されています。
「半複信方式」の使用は、複信方式の無線設備を通信の相手(親)とする通信の場合の「子」として使用する場合に限ります。
ペアチャンネルの周波数はP53に記載しています。

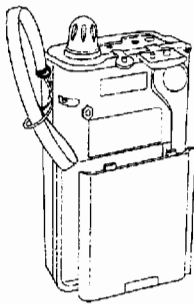
付属品とアンテナの立て方

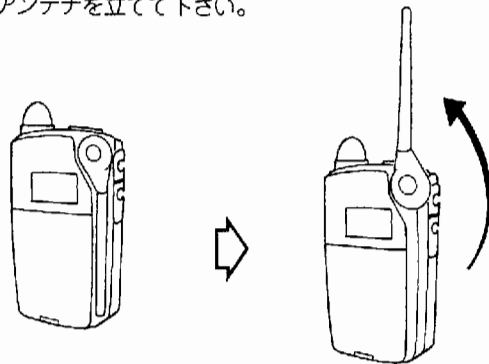
開梱しましたら付属品の確認をして下さい。

- ●ベルトクリップ
- ●ハンドストラップ
- ●取扱説明書
- ●保証書

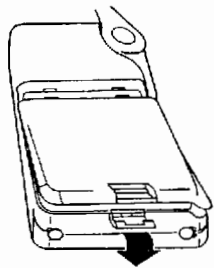
ベルトクリップのつけ方

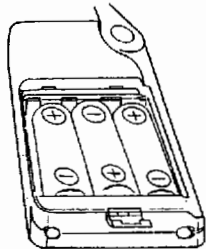
ベルトクリップ取付穴にネジを合わせ
コインなどで取り付けます。

ベルトに通して
使用して下さい。

ハンドストラップのつけ方

ハンドストラップ取付穴に
通します。

アンテナの立て方

アンテナは回転式になっています。
ご使用の際には、必ずアンテナを立てて下さい。

- ●アンテナを回す時はゆっくりと根元を持って回しましょう。
- ●ご使用にならない時はたたんでおきましょう。

電池の入れ方

1. 電池カバーを開ける

ロックをはずすと電池カバーが開きます。

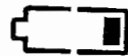
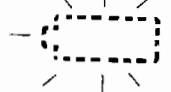
2. 電池を入れる

ケース内の＋－の印どおりに新しい単３型乾電池を３本入れて下さい。

3. カバーを閉める

はじめにツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。
きちんと閉まったことを確認して下さい。

電池交換合図

電池の残容量は常時ディスプレイに３段階で表示されています。

電池容量に余裕があります。

電池が減少してきました。

電池マークが点滅したら電池を交換して下さい。

- 使用時間のめやす。

ニッカドバッテリー	マンガン乾電池	アルカリ乾電池
20時間	29時間	58時間

上記の時間は、30秒送信―30秒受信―４分待受けを繰り返した場合のめやすです。特に冬期、気温の低い時には電池寿命が極端に短くなりますので、早めの電池交換を心がけて下さい。

- 種類の違う電池や、古いものと新しいものを混ぜて使用しないで下さい。
- 長時間使用のためには、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- 市販のニッカド電池は安全のため、ご使用にならないで下さい。
- オプションのニッカドバッテリーEBP-25Nをご使用の場合は、使用開始時にニッカドの取扱説明書をよくお読み下さい。

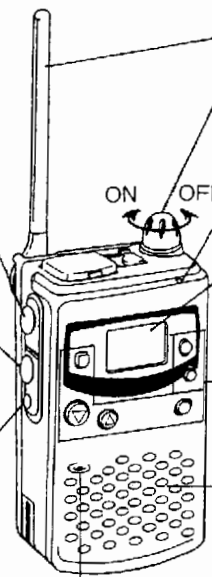
PTTスイッチ PTT
送信する時は、このスイッチを押しながら、マイクに向かって話します。

モニタースイッチ MONI
相手の声が途切れる時に使います。(☞P27)

ファンクションスイッチ F
このスイッチと一緒に各操作キーを押すと、ファンクション動作します。(☞P21)
また、このスイッチを押しながら電源を入れると、各設定がキャンセルされ初期化されます。(☞P52)

アンテナ

電源/音量ツマミ

ON OFF

送信インジケーター
送信中、点灯します。

ディスプレイ (☞P20)

操作キー
各キーの詳細はP21を参照して下さい。

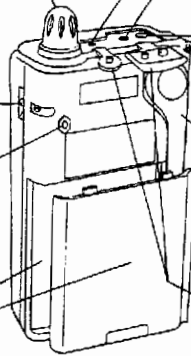
スピーカー

マイクロホン

電源/音量ツマミ
↻方向に回すと電源が入り、音量が大きくなります。
↺方向にいっぱいに回すと電源が切れます。

ハンドストラップ取付位置 (☞P14)

ベルトクリップ取付ネジ (☞P14)

電池ケース+カバー
別売のニッカドバッテリーEBP-25N(☞P55)を装着することができます。

外部電源端子 ※

マイク端子 ※

スピーカー端子 ※

※は別売のスピーカーマイク等(☞P54)を接続する端子です。

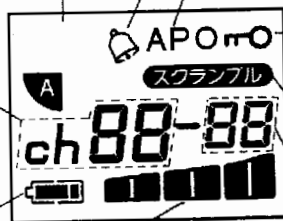
アンテナ
(立て方は☞P15)

防水キャップ
これをはずすと日常生活防水機能がそこなわれます。

●ディスプレイ

ペアチャンネル(P93のみ)
ch12~29でペア交信する時、点灯します。(☞P38)

ベル機能ON時、点灯します。(☞P44)

オートパワーオフON時、点灯します。(☞P51)

キーロック中、点灯します。(☞P48)

スクランブルトーク時、点灯します。(☞P32)

APO
スクランブル
A
ch88-88

チャンネル
ch番号を表示します。

電池残量
電池の残容量を表示します。(☞P17)

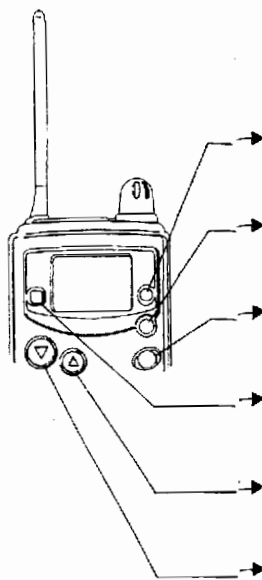
シグナルメーター
受信感度を3段階で表示します。(☞P27)

グループ番号1~38を表示します。(☞P30)

送信可能時間を表示します。(☞P22)

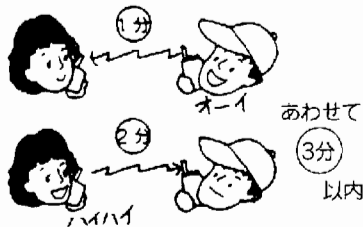
ビープ音量の設定を表示します。(☞P47)

PTTホールド機能の設定を表示します。(☞P40)

●操作キーの働き

キー ＼ 条件	単独で押したとき	Fキーと同時に押したとき	押しながら電源 ON
SCAN BEEP ○	フリーチャンネルサーチ (☞P34)	ビープ音 ON/OFF (☞P46)	ビープ音量切り換え (☞P47)
BELL ○	ベル機能 (☞P44)		
LAMP LOCK ○	ディスプレイランプON (☞P50)	キーロック (☞P48)	ランプ常灯 (☞P50)
GROUP APO ○	交信モードの切り換え (☞P33)	オートパワーオフ (☞P51)	通話圏内表示機能ON/OFF (☞P42)
CHANNEL GROUP ▲	チャンネルUP (☞P26)	グループ番号UP (☞P30)	エンドピーON (☞P29)
CHANNEL GROUP ▼	チャンネルDOWN (☞P26)	グループ番号DOWN (☞P30)	エンドピーOFF (☞P29)

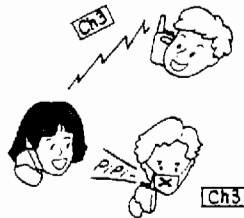
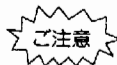
特定小電力の交信時間について

① 一定の時間以上は連続で交信できません。

送信、受信を合わせて3分以内です。

10秒前に警告音が鳴り、同時に残り時間のカウントダウン表示が始まります。
交信時間が合計3分になると自動的に交信は停止します。

3分の交信時間制限により、自動的に交信が止まった後は、2秒たたないと次の送信は出来ません。
2秒以内に PTT スイッチを押してもアラーム音が鳴り、送信できません。
また各アラーム音が鳴るのはピープ音がONの時のみです。

(☞P46)

② 受信中は送信できません。

一定の強さの信号を受信している時は PTT スイッチを押しても送信できません。
受信中に PTT スイッチを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことを知らせます。

ご注意 ピープ音がOFFの時はアラーム音は鳴りません。

3つの交信方法

基本の交信（☞P26）

同じチャンネル番号の人は全て交信できます。

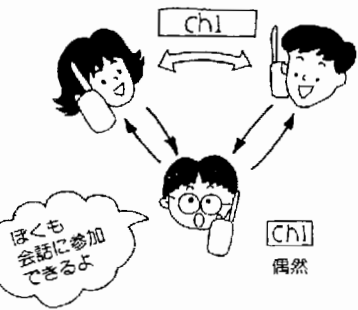
ch1〜11

1〜11チャンネルは、チャンネル合わせるだけで交信できますが、同じチャンネルの他グループの声も聞こえます。

周波数構成が同じ他の特定小電力トランシーバーと交信できます。

ch1

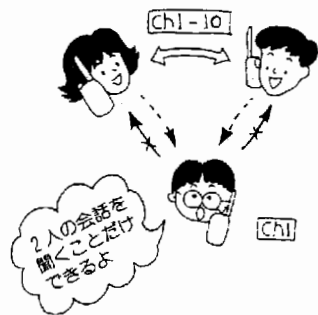
ぼくも会話に参加できるよ

ch1
偶然

ch12〜29

(P93のみ) ch12〜29はペアチャンネルになっています。
中継器(DJ-P9R:別売品)を通して半複信方式の通話ができます。

ご注意　本機同士の直接通話はできません。

グループトーク（☞P30）

同じチャンネル、同じグループ番号の人とだけ交信できます。

ただし、グループ内の会話は、同じチャンネルでグループトークにしていない人にも聞こえています。

他の人に会話を聞かれたくないなら…

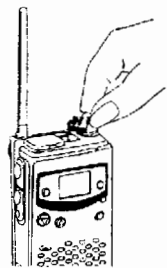
スクランブルトーク（☞P32）

同じチャンネル、同じグループ番号でも、スクランブルトークにしていない人には会話の内容は聞きとれません。

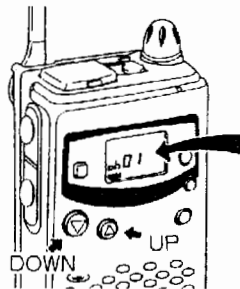
基本の交信のしかた①

まずはじめに、基本の交信をマスターしましょう！

1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを∩に回し、電源を入れます。

音量の調節は MONI スイッチを押しながら、ツマミを回すと、調節しやすくなります。

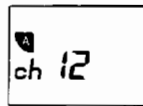
2. チャンネルを合わせる

Ⓐまたは▽キーで相手と同じチャンネル(1〜11)に合わせます。

チャンネル番号が変わります。

押し続けると連続して変化します。

※ch12〜29は、ペアチャンネルです。（☞P38）

ch 12

※各chの周波数はP53をご覧下さい。

3. 受信すると…

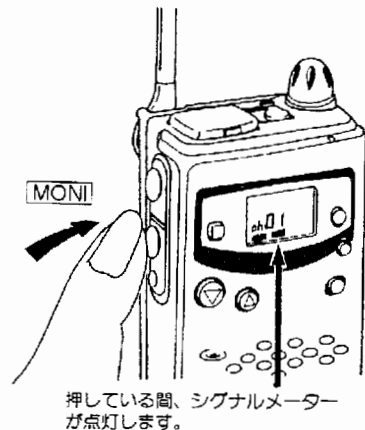
電源を入れると、受信待ち受けが始まります。信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえてきます。

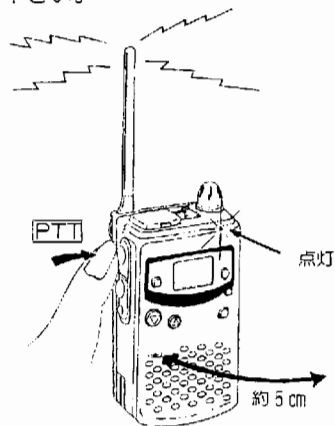
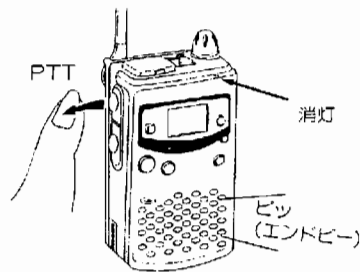
相手の声が途切れる場合

信号が弱くて相手の声が途切れる場合は MONI スイッチを押してみて下さい。聞きやすくなることがあります。

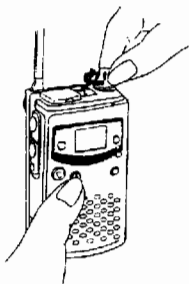
フリーチャンネルサーチ中は動作しません。　（☞P34）

押している間、シグナルメーターが点灯します。

基本の交信のしかた②

4.送信する

信号を受信していないことを確認して、PTTスイッチを押します。
送信インジケーターが赤く点灯したら、マイク部から5cm位離してお話し下さい。

PTTスイッチを離すと送信を終えて、受信待ち受け状態になります。
PTTスイッチを離した時、"ピッ"という音が鳴ります。(エンドピー)
これは送信が終わったことを知らせる合図です。受信側はこの音が聞こえると、次の送信ができます。

エンドピーのON/OFF

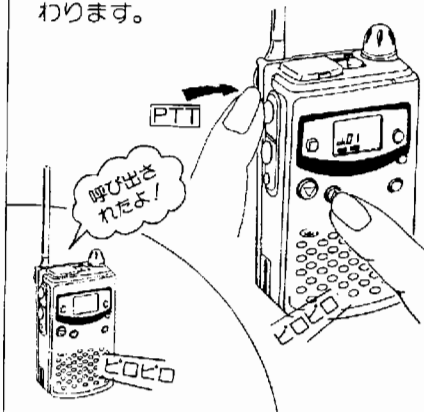
エンドピーの消し方

▼キーを押しながら電源を入れるとPTTスイッチを離した時のピッ音は出なくなります。

エンドピーの出し方

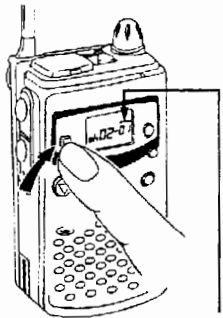
▲キーを押しながら電源を入れると、ピッ音は出るようになります。

コールトーン呼出し

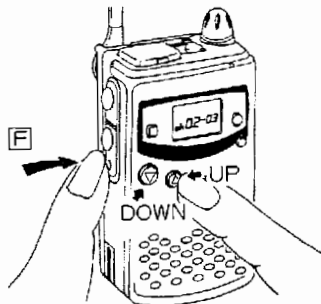
PTTスイッチを押した状態で▲キー、または▼キーを押すと"ピロピロ…"という呼出音で相手を呼出します。
スクランブルトーク中は呼出音が変わります。

グループトークのしかた

同じグループの人とだけ交信したい時はグループトークを使います。

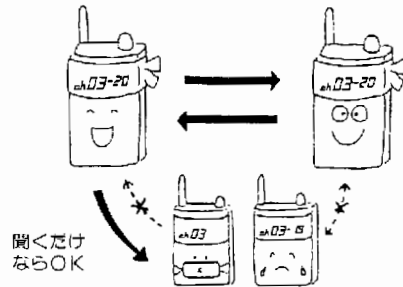
1.グループトークモードにする

GROUP APO キーを押して、グループトークモードにします。

グループトークになるとグループ番号が点灯します。

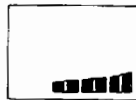
2.グループ番号を合わせる

F スイッチを押しながら、▲キーか▼キーを押して、相手と同じグループ番号を1〜38の中から合わせます。

F スイッチを押したまま▲、▼キーを押し続けると連続して変化します。

3.送信と受信

基本の交信と同じ操作（☞P26）で送信、受信します。

同じチャンネル、同じグループ番号のもの同士のみ交信できます。ただし、グループトークにしていない同じチャンネルの人には聞かれています。

ご注意

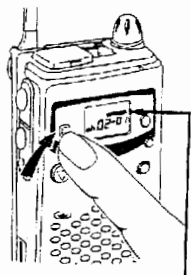
グループ・スクランブルトーク中も、相手の声は聞こえなくても同じチャンネルの電波は受信しています。

他のグループがそのチャンネルを使っていると、シグナルメーターが点灯します。

シグナルメーター点灯中は声は聞こえなくても送信できません。

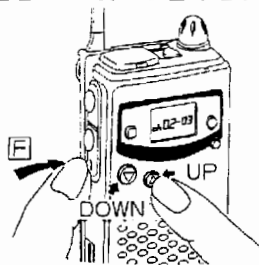
スクランブルトークのしかた

グループトークにしていても、グループトークモードにしていない人には会話は聞かれています。スクランブルトークにすると、秘話機能が働き、他のグループの人には会話の内容は理解できません。

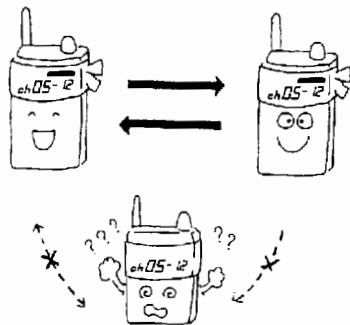
1.スクランブルトークにする

GROUP/APO キーを押して、スクランブルトークモードにします。

スクランブル が点灯します。

2.グループ番号を合わせる

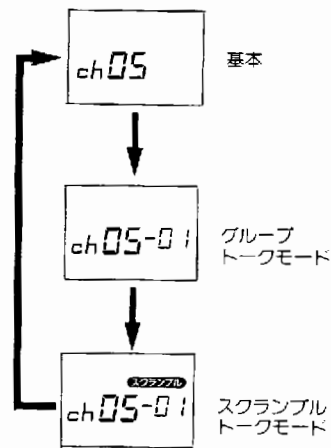
Fスイッチを押しながら、▲キーか▼キーを押して、相手と同じグループ番号を1～38から合わせます。

Fスイッチを押したまま▲、▼キーを押し続けると連続して変化します。

3.送信と受信

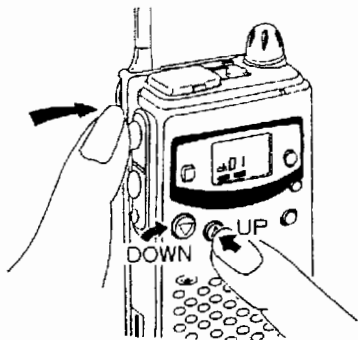
基本の交信と同じ操作（☞P26）で送信、受信します。

同じチャンネル、同じグループ番号でスクランブルトークにしているもの同士のみ交信できます。スクランブル交信にしていない人には、声は聞こえますが、内容はわかりません。

交信モードの切換えかた

GROUP/APO キーを押す度に 3 つの交信モードが切換ります。

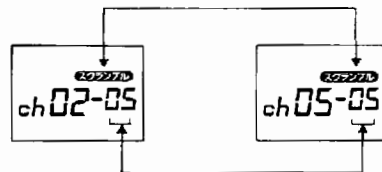
空いているチャンネルを選択する①（フリーチャンネルサーチ）

ch1～11を次々と切り換えながら、空いているチャンネルを探して交信できる機能です。（フリーチャンネルサーチ）

1.選択チャンネルの範囲を決める

▲キーまたは▼キーを押して、双方のチャンネルを 1～11のいずれかに合わせて下さい。

2.グループ・スクランブルトーク

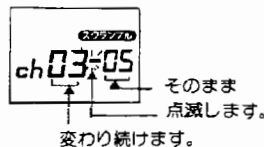
① GROUP/APO キーを押して、グループトークか、スクランブルトークにします。 (☞P30)

② F スイッチを押しながら▲キーまたは▼キーで同じグループ番号に合わせて下さい。 (☞P30)

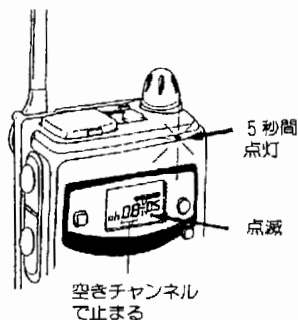
①交信モードを合わせて下さい。

②同じグループ番号にして下さい。

3.フリーチャンネルサーチ開始

SCAN/BEEP キーを押すと、フリーチャンネルサーチが始まります。

空いているチャンネルを選択する②（フリーチャンネルサーチ）

4. 相手を呼び出す

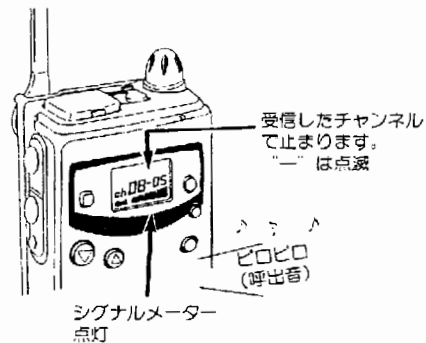
呼び出す側は、PTT スイッチを押して、送信インジケーターが点灯したら、すぐに離します。

空きチャンネルを探して、そのチャンネルで止まり、5秒間送信状態となり、相手を呼び出します。
空きチャンネルがない場合は送信できません。

5. 送信を始める

送信インジケーターが消えるのを待って、相手から応答音が返ってくると、PTT スイッチを押して送信に入ります。

5秒間、応答がなかったり、交信が5秒間途切れるとスキャンが再開します。

6. 呼び出されると…

スキャン中に信号を受信すると、ピロピロ音が鳴り、受信したチャンネルで止まります。その後、相手からの信号を受信しますので応答して下さい。

交信が5秒途切れると、スキャンが再開します。

7. フリーチャンネルサーチ終了

SCAN/BEEP キーを押すとスキャンは終了します。

※ どのチャンネルで止まるかは不定です。

- 呼出しを受けた時のピロピロ音はビープ音がONの時のみです。(☞P46)
- フリーチャンネルサーチ動作中に電源を切っても、次に電源を入れた時は続いてフリーチャンネルサーチ動作になります。
- 基本の交信モード中は動作しません。
- ペアチャンネル(ch 12〜29)では、フリーチャンネルサーチは動作しません。

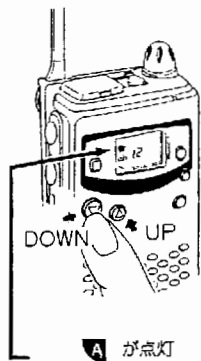
ペアチャンネルで交信する

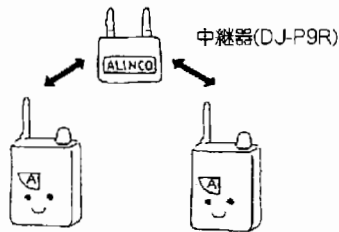
別売品の中継器(DJ-P9R)を設置することで、障害物による電波の不感地帯を解消できます。

(P93のみ)

1.チャンネルを合わせる

▲キーか▼キーを押してch12～29に合わせて下さい。

A が点灯

2.交信のしかた

PTTスイッチを押し続けて下さい。約2秒後内蔵スピーカーから中継器からの返信音と共にツツ音が聞こえます。次にマイクに向かって話します。後は通常の交信と同じです。

●交信のない時間が2秒以上続くと、中継器の動作は終わりますので再度上記の操作をして下さい。

●呼び出しを受けて応答する時は、中継器の送信が終わってから送信して下さい。

ご注意

●本機ではch12～29は半複信方式で許可されています。複信方式の無線設備を通信の相手(親)とする場合の相手(子)としてのみお使いいただけます。

●各chの周波数はP53に記載しておりますのでよくお確かめの上、お使いになって下さい。

●本機はビジネス用のチャンネルで交信します。ALINCOトランシーバーP80、P83とは周波数が異なるため、通話できません。

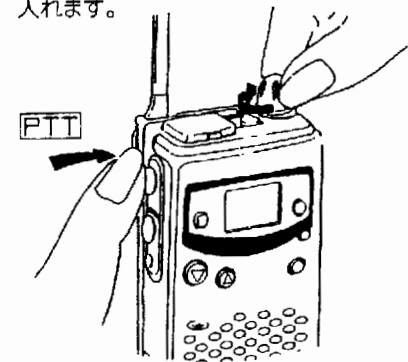
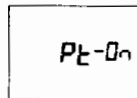
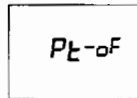
●PTTホールド機能(☞P40)を利用する場合、確実に中継動作をさせるために、中継器のハングアップタイマーを0.5秒又は1.0秒に設定して下さい。

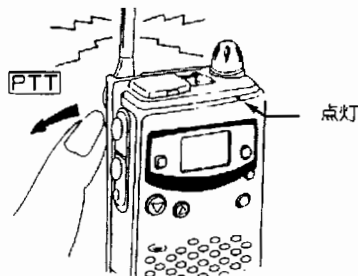
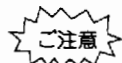
いろいろな機能①

① PTTホールド機能

PTTホールド機能は、PTTスイッチを一度押すと、PTTスイッチを離しても送信状態が持続する機能です。この機能により、送信時にPTTスイッチを押し続ける操作を省略できます。

PTTホールド機能をON/OFFする

PTTスイッチを押しながら、電源を入れます。

PTTスイッチを押し手いる間はON/OFFを表示します。

PTTホールド機能ON時の操作

- PTTスイッチを一度押すと送信状態が持続しますので、そのままマイクに向かって話して下さい。

- もう一度押すと送信が切れ、受信状態になります。

ご注意

- オプションマイクでは、この機能はご使用になれません。
- 3分の交信時間制限により、3分送信すると自動的に2秒間待ち受け状態になり、その後送信を再開します。

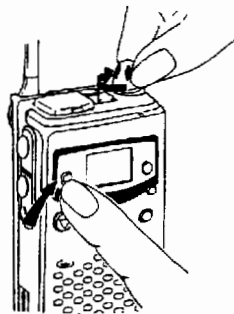
いろいろな機能②

② 通話圏内表示機能

グループトークモードを利用して特定の相手局と交信する時に、相手が通話可能な範囲内にいるかどうかを、自動的に知らせる機能です。

準備:グループトークモードかスクランブルトークモードに設定します。また、相手局と同じグループ番号であることを確認します。

通話圏内表示機能をON/OFFする

GROUP/APO キーを押しながら、電源を入れます。

PTT スイッチを押している間はON/OFFを表示します。

表示	説明
ch01-05	通話圏内表示機能OFF時の表示
01-05	通話圏内表示機能ON時の表示(chの文字が消えます)

通話圏内表示機能ON時の動作

● 相手局が「通話圏内」の場合。

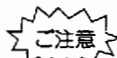
01-05 グループ番号が点灯します。

● 相手局が「通話圏外」の場合。

01-05 グループ番号が点滅します。

● 相手局が「通話圏内」から「通話圏外」へ移動した場合。

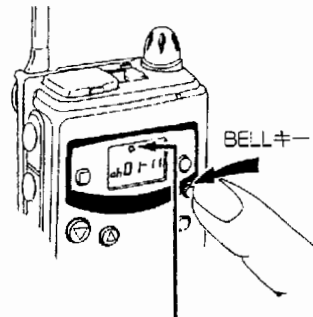
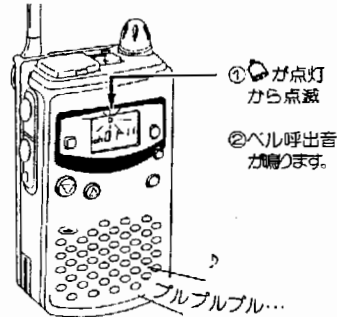
01-05

01-05 グループ番号が点灯から点滅にかわり、告知音(ピピピッ)が鳴ります。

ご注意

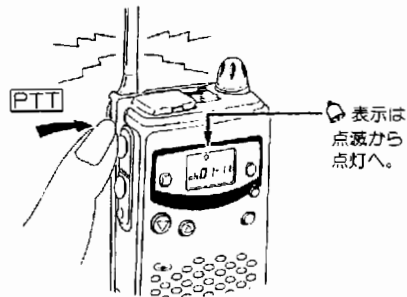
- 通話圏内表示機能は、グループトークモード又はスクランブルトークモードの時のみ有効となります。
- 次の場合は、通話圏内表示機能が強制的にOFFになります。
  - フリーチャンネルサーチ機能をONにした場合
  - グループトークモード又はスクランブルトークモードをOFFにした場合
- MONI スイッチを押している間は動作しません。

③ ベル機能 呼び出されたことを表示とベル音で知らせる機能です。

ベル機能をON/OFFする

BELL キーを押します。

♪ベル呼出音が必要ない時は、ビープ音をOFF（☞P46）にしておくと、ベル音は鳴らず が点滅します。

点滅中の操作

● PTT を押して送信すると は点灯に戻ります。

● BELL キーを押すと は消灯します。
●電源を切ると次にONした時は点灯になります。

◆ベル機能をONにしておくと、呼び出されると表示が残りますので、トランシーバーから離れていても呼出しがあったことがわかります。

◆グループ交信やスクランブル交信と併用して特定の相手からの待ち受けに便利です。

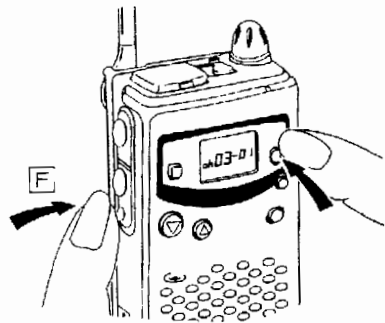
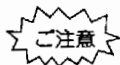
④ ビープ音のON/OFF

キーの操作音や呼び出し音が耳ざわりな時はこれを消すことができます。

ビープ音をON/OFFする

F スイッチを押しながら SCAN/BEEP キーを押します。

設定をかえても表示はかわりません。

ご注意

ビープ音OFFにしても次の音は鳴ります。

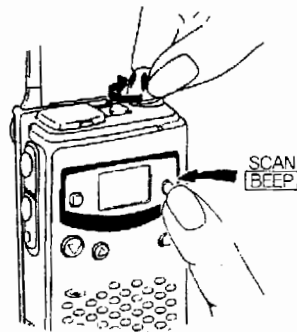
- ☞P28　エンドピー音
- ☞P29　コールトーン呼出音 ピロピロ
- ☞P36　スキャン動作中の応答音ピピッ

⑤ ビープ音量の切り換え

キー操作音や呼出音を大きくすることができます。

ビープ音量を切り換える

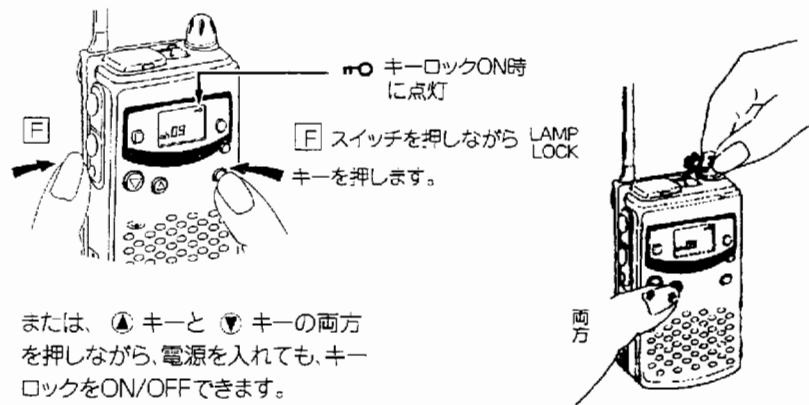
SCAN/BEEP キーを押しながら、電源を入れます。

SCAN/BEEP キーを押している間はON/OFFを表示します。

ch03- L　通常の音量の時の表示

ch03- H　音量を大きくした時の表示

キーロックしておくと、誤って設定を変えてしまうことを防げます。

キーロックをON/OFFする

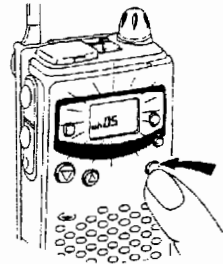
または、Ⓐキーと Ⓥキーの両方を押しながら、電源を入れても、キーロックをON/OFFできます。

⊶ 点灯中は、以下の操作以外は無効になります。

電源、音量ツマミ
PTT スイッチ
MONI スイッチ
F ＋ LAMP LOCK キー
（キーロック解除）
送信中のⒶ、Ⓥキー
（コールトーン呼出し。送信中以外は無効）

◉無効操作の時には、ビープ音は鳴りません。

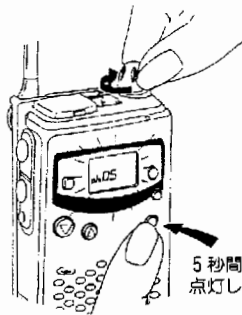
◉ロックしておくと、誤ってキーを押してもチャンネルやモードが変わらないので、ポケット等に入れてお使いになる場合、特に便利です。

⑦ランプ 暗い場所で操作する時にディスプレイがよく見えるようにランプを点灯させる機能です。

ランプのON/OFF

LAMP LOCK キーを押します。

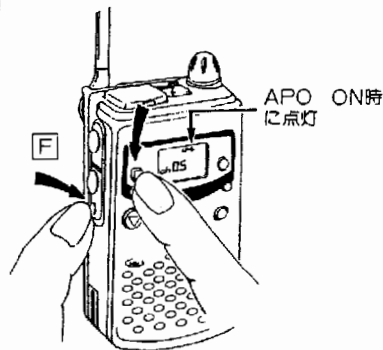
●ランプON中に再度 LAMP LOCK キーを押すと消灯します。
●ランプON中にその他の操作をすると、さらに5秒間点灯します。

ランプ常灯モードのON/OFF

LAMP LOCK キーを押しながら電源を入れます。

●ランプONのまま LAMP LOCK キーを押すと消灯し、もう一度押すと常灯になります。
●上図の操作の毎に常灯モードが ON/OFFします。

⑧APO(オートパワーオフ) 電源の切り忘れを防ぎ電池が長持ちします。

APOをON/OFFする

F スイッチを押しながら GROUP APO キーを押します。

APO点灯中は30分間呼出しを受けず、キー操作がなければ自動的に電源が切れます。

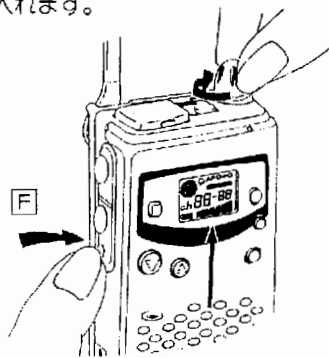
●ビープ音がONの時は電源が切れる30秒前にアラーム音が鳴りますので、続けてご使用になる時は何かキーを押して下さい。
●APO後、電源を入れる時は電源ツマミを○へ回して電源を切ってから再び○を回して電源を入れて下さい。

APOで電源は切れていても若干の電流は流れています。電池を長持ちさせるためにも、ご使用後は必ず電源ツマミで電源を切って下さい。

⑨リセット

動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は、リセットしてみて下さい。

リセット(初期化)する

F スイッチを押しながら、電源を入れます。

F を押している間は表示が全点灯します。
F を離すと、通常の表示に戻ります。

リセットをすると、各設定が初期化され工場出荷時の設定になります。

交信モード	基本のモード
チャンネル	ch01
ベル、キーロック APO、PTTホールド ランプ	OFF
ビープ音 エンドピー音	ON
ビープ音量	小

※表示はされていませんがグループ番号は"01"です。

付録 各chの送受信周波数

本機は業務用チャンネル対応機です。本機と同じ周波数構成のトランシーバーとのみ交信できます。周波数の違うトランシーバーとは、チャンネルを合わせても交信できません。交信相手やペア組合せをよくお確かめ下さい。

ch1～11/(P90·P93)

(MHz)

ch	送信・受信
1	422.0500
2	422.0625
3	422.0750
4	422.0875
5	422.1000
6	422.1125
7	422.1250
8	422.1375
9	422.1500
10	422.1625
11	422.1750

ch12～29/(P93のみ)

A Ａ

(MHz)

ch	送信	受信
12	440.0250	421.5750
13	440.0375	421.5875
14	440.0500	421.6000
15	440.0625	421.6125
16	440.0750	421.6250
17	440.0875	421.6375
18	440.1000	421.6500
19	440.1125	421.6625
20	440.1250	421.6750

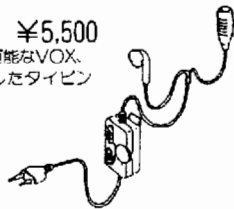
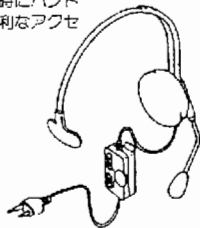
ch	送信	受信
21	440.1375	421.6875
22	440.1500	421.7000
23	440.1625	421.7125
24	440.1750	421.7250
25	440.1875	421.7375
26	440.2000	421.7500
27	440.2125	421.7625
28	440.2250	421.7750
29	440.2375	421.7875

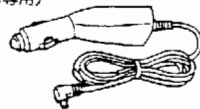
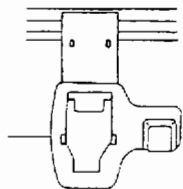
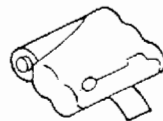
ペアチャンネルは半複信方式で許可されています。

オプション

オプション(別売)でより楽しく便利にご活用いただけます。

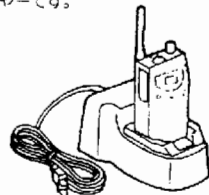
スピーカーマイク
EMS-9 ¥4,500
無線機本体を腰に付けたり、ポケットに入れて使用する時に便利です。

タイピンマイク
EME-15 ¥5,500
ハンドフリー運用が可能なVOX、PTT両機能を内蔵したタイピンマイクです。
〈VOX機能付〉

ヘッドセット(耳のせ式)
EME-12 ¥6,500
両手がふさがっている時にハンドフリー運用ができる便利なアクセサリーです。
〈VOX機能付〉

ヘッドセット(インナータイプ)
EME-13 ¥6,500
両手がふさがっている時にハンドフリー運用ができる便利なアクセサリーです。
〈VOX機能付〉

シガーDC/DCコンバーター
EDH-9 ¥3,800
車のシガーソケットから5.5Vを取り出すアダプターです。
24V車には使えません。
(12V車専用)

モービルブラケット
EBC-6 ¥1,800
車の中で使用する時に、本体をドアに取り付けるためのブラケットです。

ニッカドバッテリーパック
EBP-25N ¥1,900
繰り返し充電して使用できるバッテリーパックです。

イヤホンマイク
EME-16 ¥3,400
PTT機能のみのタイピンマイクです。

プチ型イヤホン
EME-6 ¥1,500
人混みや雑音の中でも相手の声を明瞭に受信できます。

ソフトケース
ESC-27 ¥1,600

急速バッテリーチャージャー
EDC-47A ¥9,800
ニッカドバッテリーパック(EBP-25N)専用のバッテリーチャージャーです。

トリクルバッテリーチャージャー
EDC-71
¥2,300

修理に出される前に…

症　状	原　因	処　置
電源を入れても何も表示しない。	電池の入れ方が違う。	電池を正しく入れ直して下さい。(☞P16)
	電池の消耗。	乾電池をご使用の場合は新しい乾電池に交換して下さい。ニッカドバッテリー(EBP-25N)をご使用の場合は充電して下さい。
スピーカーから音が出ない。 受信しない。	相手とチャンネルが違う。	チャンネルを合わせて下さい。チャンネルがわからない時は、フリーチャンネルサーチで呼出されるのを待って下さい。(☞P34)
	グループ番号が違う。	グループ番号を合わせて下さい。(☞P30)
	ch10～18で直接通話しようとしている。	別売品の中継器を設置して下さい。(☞P38)
	相手と距離が離れすぎている。	交信距離を目安に交信して下さい。(☞P13)
	音量ツマミを左に回しすぎている。	音量ツマミを適当な位置に合わせて下さい。
	ＰＴＴスイッチを押して送信中。	ＰＴＴスイッチを離して下さい。

症　状	原　因	処　置
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなるのを待って送信するか、チャンネルをかえて下さい。
	交信制限時間を超過	ＰＴＴスイッチを離し、２秒たってから、再度送信して下さい。
	ＰＴＴスイッチを押しながら電源を入れた。	ＰＴＴスイッチを押し直して下さい。
何も聞こえていないのに送信ができない。	同じチャンネルを別のグループが使っている。	フリーチャンネルサーチで空いているチャンネルを探して下さい。(☞P34)
どのキーを押しても設定が変わらない。	キーロック状態。	キーロックを解除して下さい。(☞P48)
チャンネルスキャンがスタートしない。	グループ、スクランブルモードになっていない。	グループ又はスクランブルトークモードにして下さい。(☞P33)

◆上記の処置をしてもなお異常が続く場合は、P43を参考にリセット(初期化)してみて下さい。

◆電池が激しく消耗していると、まれに誤動作することがあります。
動作がおかしい時、ディスプレイの電池マークが点滅していたら、電池を交換してみて下さい。正常な状態に戻ることがあります。